



発行者:社会福祉法人じねんじょ
発行日:平成30年9月1日
TEL:083-252-2227
FAX:083-252-2259
E-mail:jinenjo@jinenjo.or.jp
<http://www.jinenjo.or.jp>

大地

(じねんじょ通信)

平成30年3月29日、下関西ライオンズクラブ主催の餅つきが行われました。

じねんじょ開所当初から、メンバー、保護者、職員一同、楽しませていただいている年度末の行事です。

メンバーは1人ずつつきねを使ったもちつきを体験しました。大きな掛け声が飛び交うなかでのもちつきで、たくさんの笑顔をみることができました。

ボランティアの方々にもお手伝いいただき、楽しいひと時となりました。

下関西ライオンズクラブの皆さん、ありがとうございました。



第13回下関市レクリエーションボッチャ大会に参加

平成30年6月17日(日)に、身体障害者スポーツセンターで開催されました。

今年は2チーム参加し、試合では大健闘でした。

他施設と対戦したり、じねんじょ内で対戦したりと、ボッチャはメンバーが好きな活動の一つです。お手製のランプスも持参して気合十分で臨んだ試合でしたが、残念ながら結果を残すことはできませんでした。

じねんじょメンバーが他チームで活躍している姿も見ることができ、応援にも力が入りました。お互い対戦相手になりながらも、応援しあう和気あいあいとした楽しいひと時でした。

暑い中参加していただいたメンバー、ご家族の皆さん、お疲れさまでした。



第41回馬関まつり「愛のひろば」に出店しました。

「愛のひろば」はハンディキャップのあるなしにかかわらず、同じ地域に同じ命を分かちあって生きている市民として、この町をより明るく住みやすいものにしたいとの心意気を同じくする者が集まる広場です。(趣意書より)

じねんじょも開設当初から参加させていただき、今回で15回の参加となりました。メンバーもこの日を目標に作品作りに励んできました。ただ作るだけではなく、企画、仕入れ、作業、袋詰め、値段決め、そして販売と流れの中で自分のできることを行うことで達成感を味わい、次へのステップにしています。

今年も多くの方々にお越しいただき感謝いたします。そして、ご支援して頂いた皆様ありがとうございました。



活動の取り組み

◆湯田温泉外出

5月に山口市湯田温泉街に外出しました。普段とは違う遠出の外出にメンバーもワクワクしている表情でした。現地では、温泉街を散策し、足浴をしたり、お土産の外郎を買ったりと、笑顔いっぱいの楽しい時間が過ごせました。



◆Jくらぶの紹介

じねんじょでは、平成19年度よりグループ単位での活動が始まりました。メンバー全員で楽しめる活動の一つに音楽活動があり、最初は演奏をして満足するという内容でした。ただ、“どうせ演奏するなら発表したい”という想いも芽生え、それをを目指して練習を進めていくことになりました。

そこから曲目やグループ名は何にするのか考えたり、発表の時に印象づける事ができるようにワッペンを手作りしたり、メンバーとスタッフが一丸となり、発表会に向けて準備を進めていくようになりました。

Jくらぶメンバーになるためには、厳しい試験に合格しなければなりません。

「大きな声で歌うこと、笑顔で楽しく歌うこと、楽器を一生懸命鳴らすこと、自己紹介ができる事と、“J”的掛け声に勢いがあること」です。

これらの課題をクリアしたJくらぶメンバーの演奏は、見ていて、聞いていて、一緒に歌いたくなるような、ほのぼのとした演奏です。

外部の施設でも何度も演奏させていただいたり、じねんじょ内の活動でも出番があったりと、コツコツ活動を続けてきています。

これからも、Jくらぶメンバーが楽しく、観客の皆さんも楽しめる音楽サークルとして続けていきたいと思っています。



◆「暑い!熱い!むく夏休み!!」

今年の夏休みは暑い日が続きましたが、学童のメンバーは暑さに負けず、楽しく元気に熱い夏休みを過ごしました。

毎年恒例のイベントでは、地域の7団体のボランティアの方にご協力をいただき、音楽コンサート、絵本の読み聞かせ、人形劇、エアロビクスなど、わくわく、ドキドキ楽しい時間を提供していただきました。

メンバーの満面の笑顔や真剣なまなざし、全身で楽しむ様子に、イベントボランティアの方々には、「来てよかったです」「また来たい」とうれしいお声をいただきました。一年、また一年と交流を重ねるたびに、関わりが深まっていることを実感しています。これからも地域の方々の力を借りながら、メンバーさんの活動が充実したものになるよう、また、人の関わりが広がっていくように支援していきたいと思っています。



夏休みにお越しいただいたイベントボランティアの皆さん、本当にありがとうございました☆

◆『おもい』に寄り添う

ヘルパーステーションふわりは重症心身障害者児・者であるメンバーが安定した在宅生活を続けることができるよう、その生活のほんの一部をお手伝いさせていただいている。現在の主な支援内容は、入浴、食事、身体整容、通院、余暇外出です。入浴や食事などの介助でご自宅に伺うと、ご本人の思いを表情や声、全身を使ってしっかりと伝えてくださいます。ご自宅はメンバーにとって安心できる居心地の良い場所です。そのため、思いを表出しやすいようです。他の場面ではなかなか表現されることがなかった、また支援者が見落としていた強い思いや要求を感じることができた時は、その発見にヘルパーはとても感動します。そして、もっとメンバーのことを知りたいと思います。外出先では、いつもと違う場面に緊張したり、一生懸命地域の方々に関わろうしたりと、また違った様子を見せてくださいます。ヘルパーはメンバーの表現を引き出し、地域の方々にお伝えしたいと感じます。今もこれから先も、メンバー一人ひとりが家庭でも地域でもその人らしく輝けるよう、サポートさせていただきたいと思います。



◆事業開設から2年を振り返って

平成28年6月に相談支援事業じねんじょを立ち上げて、2年が経過しました。現在、1歳のお子さんから88歳の方まで70人弱の方と契約させていただいている。今まで当法人のメンバーだけでなく、地域で暮らす様々な方たちとの出会いを経験させていただきました。

相談支援の仕事は、相談支援を利用してくださる人たちと相談支援専門員との「やりとり」から始まります。そして相談支援は人と人の「やりとり」の連続であり、過程もあります。特に「やりとり」のスタートの時には、自分自身の経験から知らず知らずのうちに形づくられた価値観が、目の前にいる方の人生を決めつけてしまっていないか気を付けるようにしています。

また「やりとり」の過程においては、単に医療や福祉サービス、その他の資源を利用できるようにするだけではなく、本人を支える「ネットワーク」として成長させていかなければいけないと感じています。

本人を支えるネットワークは支援チームとも言えると思いますが、チームづくりをどう行ついたらよいかはまだ模索中です。ご本人はもとより、ご家族や職場の上司、仲間、これまで出会った方たちの力を借りて相談支援に取り組んで行きたいと改めて思います。

平成30年6月16日(土) じねんじょ公開フォーラム2018

6月16日(土)じねんじょ公開フォーラム2018を開催しました。

今年度は「地域で育ち、地域で暮らすために大切なこと—医療的ケア児のコミュニケーション発達支援を通じてー」と題しまして、熊本保健科学大学准教授、佐々木千穂先生をお招きしてご講演をいただきました。

当日は市内の総合支援学校の先生方、通所事業所の職員の方、ご家族とメンバー、そして市外・県外の通所事業所の職員の方など100名近い方がご参加くださいました。

2年前、当法人のむくっこのスタッフがAさんという女の子の訪問支援に入らせてもらうことになりました。Aさんは1歳前から人工呼吸器を装着して生活されており、体力的にも外出することはなかなか難しいお子さんです。私たちが訪問すると、目を輝かせて何をするのか興味を示してくれて、私たちの問いかけに指や発声で応えてくれるだけでなく、一生懸命何かを伝えてくれようとしているのが分かりました。

Aさんとの出会いを通じて、私たちは改めてメンバーさんの意思疎通に必要な支援とは何かを考えました。私たちにできることは何かを模索する中で、佐々木先生と出会うことができました。

佐々木先生は多数の脊髄性筋萎縮症I型児に対するコミュニケーション支援を実践されています。講演では、先生の実践方法とそれを支える理論、さらに支援を成功に導くためのポイント等についてお話ししていただきました。私たちは、技術や方法論だけを求めるのではなく、コミュニケーション支援の基本姿勢が大事だということを改めて学ぶことができました。



第16回アートビレッジ39パステル絵画展に出展

去る平成30年6月26日～7月1日の6日間、下関市立美術館で開催されたアートビレッジ39主催のパステル絵画展に出展しました。
どの作品も、メンバーの想いがこもった素敵なパステル画に仕上がりました。

全体のテーマ「命」

生活介護じねんじょ・本体

今年は大きなテーマが「命」という事から、4階メンバーは「虹～命の懸け橋～」に決まりました。展示会に向けてメンバーは、一生懸命に命の5色を描き、とても素晴らしい作品が出来上がりました。完成した作品を見ると、メンバー一同達成感ある表情が見られました。



生活介護じねんじょ・分場だいち

テーマは「笑顔」。代表メンバーが土台を描き、それをメンバー全員で肉付けしてきました。

作品を作りあげるメンバーの表情も笑顔いっぱい、いきいきとした作品にしあがっています。



生活介護じねんじょ・ひなた

命というテーマから、ひなたでは「光」をイメージしました。中から外に、優しい光が溢れていくように、輝いているように描きました。たくさんの色を描いてステキな作品になりました。



放課後等デイサービスむく・児童発達支援むくっこ

むく・むくっこの作品テーマは、「わかば」。

1人ひとりのきらきらと輝く命が、たくさんの愛情を受けながら、たくましく育っていく、そんなメンバーの様子や願いを作品に込めました。主役のわかばは立体的、わかばを支える栄養たっぷりの土は遊び心いっぱい。むく・むくっこのメンバーらしい、楽しく元気な作品が仕上りました。



お知らせ

じねんじょフェスティバル2018 ～じねんじょから地域へ笑顔の花を咲かせよう～を開催します。

今年も地域の皆さんと一緒に楽しめるイベントを企画しています。
たくさんの方々の参加をお待ちしています。

日時 平成30年10月21日(日)10:15~14:00 予定

場所 じねんじょ館内 下関市生野町2丁目28-20

内容 各種コンサート、パステル体験、メンバー作品販売、
一般雑貨販売、青山庵の野菜販売、喫茶コーナー等

※予定の為、内容に変更の可能性があります。
詳しくは、じねんじょ 083-252-2227までご連絡ください。

じねんじょの輪

地域交流でお世話になっている デイサービスセンター大正浪漫館との交流

平均年齢90歳の利用者様が毎日元気に来館されています。朝から館内のお手伝いである調理の手伝い、タオル干し、掃除等大忙しへて皆さま頑張っていますよ。一番の楽しみは、館内で調理して提供している手作りの食事と、月に4回外出レクを兼ねた外食です!!お寿司、バイキング、焼肉、焼き立てパンランチ等毎週1日行くようにしています。じねんじょの先生と生徒さんも1度焼きたてパンランチに来てくれましたよ~

大正浪漫館のご利用者様!!

月に1回(木)に来られるじねんじょの生徒さんとの交流を楽しみにしていますので、これからも笑いヨガ体操と一緒にして思いっきり笑いましょう。



寄付者氏名(敬称略、順不同)
平成30年3月26日～平成30年8月10日

理事・評議員 株)フタバ工芸社
やまぐち小児科 大畠 一郎
新井 萬 もみの木薬局
さをり織サークル 白石 厚子
田中 和子

ありがとうございました。

編集後記

今回もいろんなところに出かけ多くの方々との触れ合いました。メンバーの日々の表情が少しでも皆さんに届くとうれしいです。

皆様からの支援に支えられて、じねんじょメンバーも楽しく夏を過ごす事ができました。暑い暑いと言いながらも、空は心なしか秋の気配。夏の疲れを引きずらないように、リズムを整えながら元気に過ごしたいと思います。